





新たにアーカイヴズの機能をこの講堂に付加するとすれば、この建物の背面側ということになるか。幸いわずかではあるが背面を改築しつつ面積を増す余地が残されている。講堂の正面ファサードは現状を維持した上で、背面で増築するとともに、講堂裏側としてでなく、もう一つの正面をそこにつくすることも可能である。

現在の講堂の使われ方はたぶん暫定的使用方法であって恒久的のものとは思われない。なるべく早い時期に安田講堂が再びキャンパスの中心として名実ともに蘇えることを期待せずにはいられない。

(いながき えいぞう 東京大学工学部教授)